

# 技術士 2 次試験に合格して



**山崎 文史**  
(やまざき たけし)

## 勤務先

株式会社 エジソンブレイン

〒041-0804 北海道函館市赤川町 522-22  
TEL 0138-83-1172 FAX 0138-83-1162  
E-mail takeshi.yamazaki@edisonbrain.jp

■ 専門：建設部門(河川、砂防及び海岸・海洋 建設環境)

## 1. はじめに

私は昨年還暦を迎えましたが、現在も建設コンサルタントとして現地測量から図面作成、数量計算、報告書作成などを行っております。

大学受験に失敗し進路に迷い測量専門学校へ行くこととなったのがこの業界へ入るきっかけでした。

## 2. 失敗を糧に

今までに、2000年に発生した有珠山噴火による災害復旧事業や駒ヶ岳火山砂防工事、また市街地における内水対策事業や北海道新幹線開業に伴う道路や河川切り替え等、多くの業務に携わってきました。

災害復旧業務をしていた頃は、連日夜遅くまで図面、数量計算、積算を行い、くたくたになりつつも上司の目を盗み、お酒を飲みに行っていました。

砂防事業では堤体長が 100m を超えるダブルウォール式の床固工の設計を行いました、そのスケールの大きさに圧倒されました。

当時は構造計算が苦手、上司の力を借りて乗り越えたことが思い出されます。

橋梁やボックスカルバートの設計では橋台へのアンカー筋の位置を間違えて工事業者に怒られたり、鉄筋の形状を誤り、納品後に図面を差し替えたり数知れずの失敗をしてきました。

こうして失敗を繰り返すうちに自身の設計成果に不安を覚え、他の技術者の高度な技術はまねが出来ないと感じていました。

そんな中、「技術士」という資格を持ち、自分の技術に自信を持って業務をされている方が多数おられる事に気が付きました。私も「技術士」試験に合格することが出来れば自分の技術に自信が持てるのではないかと考え、受験することを決意しました。

それから地元の道南技術士会(現在の道南技術士委員会)へのセミナー等へ参加し、平成 16 年には技術士の一次試験に合格し、平成 24 年に二次試験の「建設部門」建設環境を取得、昨年度は最も熱望していた「河川・砂防及び海岸、海洋」での二次試験に合格することが出来ました。

技術士会では解答論文の添削して下さい、二次試験の面接試験前には道南技術士委員会恒例の「鬼の面接」で鍛えられたことが合格につながりました。

## 3. 技術士として

「技術士」を取得してからは自らの技術に自信を持つことが出来、また技術士会への参加により幅広い技術者との交流もあり多くの発見や新しい知見を得ることが出来ました。

北海道新幹線では地元ということもあり、河川の切り替え工事で護岸工や落差工の設計を行いました、新幹線がその上を無事通過するまで、不安もありましたが開業後 4 年が経過し、ようやく安心して眠られるようになりました。

## 4. 終わりに

私は多くの失敗をする中で「技術士」という資格と巡り会い、たくさんの技術や自信を与えてもらったことを実感しています。

現在では社内に「技術士」を目指し、必死に業務と受験勉強を行っている若手技術者が多数いますので、全員が「技術士」を取得出来るよう、バックアップ出来ればと考えています。

今後も私達は人々の幸福を支える社会基盤を創っていることを自覚し、自らの技術に自信を持って業務を行っていきたいと思います。